



第 **86** 期 報告書 平成20年4月1日~平成21年3月31日

佐藤商事株式會社

証券コード：8065

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素、株主の皆様には当社グループへの格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第86期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）の報告書をお届けいたします。

当社グループの業績の概況は、後記「営業の概況」の中の「平成21年3月期業績のポイント」に記載のとおりであります。売上高1,661億2千8百万円（前期比1.7%減）、経常利益26億9千9百万円（前期比24.1%減）、当期純利益9億9千7百万円（前期比49.6%減）となりました。

期末配当につきましては、企業体質の強化、今後の収益見通し、将来の事業展開に備えるための内部留保の確保等を総合的に勘案し、1株につき15円とさせていただきます。

これにより、中間配当15円とあわせて年間配当は1株につき30円となります。

当社グループは事業の継続性、安定配当の継続性、設備投資の継続性などを実現するために安定した収益確保を目指すとともに、内部統制を含む経営の健全化を推進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

村田和夫

平成21年6月



業績の概況および今後の展望

平成21年3月期業績のポイント

当連結会計年度の我が国経済は、上半期は原油価格などの原材料価格の上昇によるコスト高騰の影響はあったもののおおむね穏やかに推移しましたが、下半期に入り米国発の金融危機の影響が世界的レベルで实体经济へ波及したことで、輸出の減少、生産減による企業収益の悪化や設備投資の急減速、加えて株式市場の下落や厳しい雇用環境などかつて経験のないほどの厳しい局面を迎えました。

このような状況下におきまして、当社グループの連結業績は、各取引業界の急速な減産や在庫調整等の影響を受け売上高は1,661億2千8百万円（前期比1.7%減）、営業利益は25億4千6百万円（前期比25.1%減）、経常利益は26億9千9百万円（前期比24.1%減）、当期純利益は、9億9千7百万円（前期比49.6%減）の計上となりました。

平成22年3月期業績の展望

当社グループは、引き続き経費節減や内部管理体制の強化により、将来にわたる利益確保の実現を目指してまいります。取扱数量の減少や鋼材価格下落等の影響を大きく受けると予想されます。

次期平成22年3月期の連結業績予想につきましては、売上高1,170億円、営業損失4億円、経常損失5億円、当期純損失は4億5千万円を見込んでおります。

設備投資

設備投資につきましては将来にむけた設備投資と商社としてふさわしい職場環境の整備の二つの観点から進めております。

第86期は、岡山鋼材センター新設、太田支店事務所・倉庫移転等、約27億円の設備投資を実施しました。

第87期は福島支店倉庫拡大、名古屋支店倉庫移転等、約20億円の設備投資を予定しております。

事業の拡大効率化を目的とした設備投資は重要であり、その結果将来の業績向上を通じて株主の皆様への還元を図ってまいります。

経営方針

会社の経営の基本方針

当社は、ユーザーとメーカーのニーズを先取りし、あらゆる要望に応え、「流通・サービスを通じて広く社会に貢献する」ことを基本方針としております。

社内の管理体制

当社はあらゆる企業活動において法令を遵守し、内部管理体制の強化を含めた透明性の高い経営体制の構築をしております。

- ・入社式、社内研修、社内報等あらゆる機会を通じて、法令遵守の徹底、管理の大切さを説いています。
- ・コンプライアンス体制強化に向けた取組の一環として「コンプライアンス委員会」を設置し、コンプライアンス経営実現のため議論を重ねております。
- ・必要な情報が確実に報告、連絡、相談される風通しのよい会社作りをめざしております。

当社が目指している会社像

当社は79年の歴史と伝統を大切にしながら、常にチャレンジ精神をもって、変化、革新をし続ける会社です。

今後も、株主様をはじめ、お取引先様、地域の皆様、OB・OGの皆様、社員ほかすべての関係者を大切に、社会に貢献できる会社をめざしています。

中長期的な経営戦略

情報技術の発展やグローバル化の進展などにより、産業構造も含め、急激なスピードで事業環境

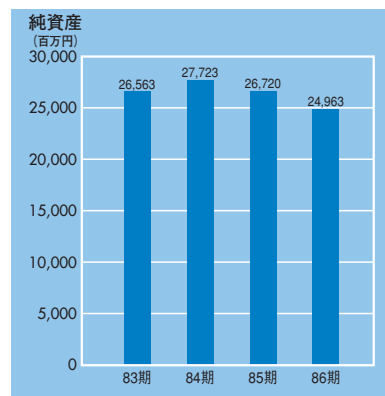
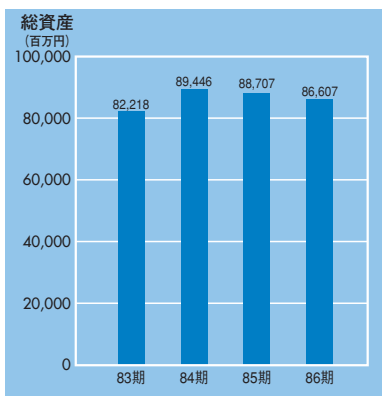
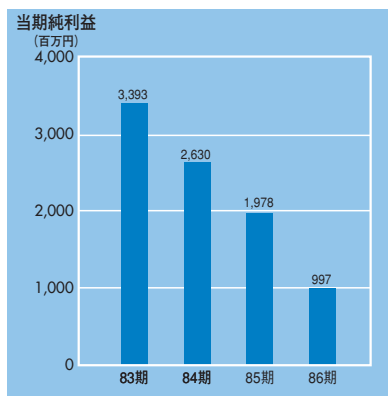
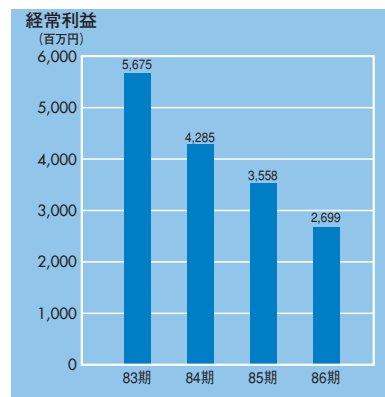
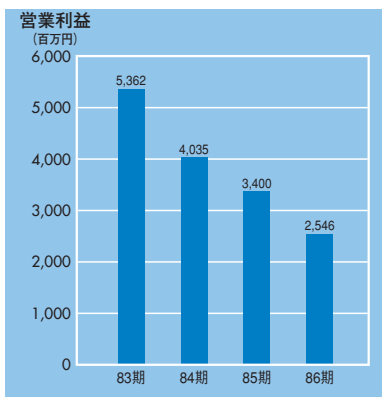
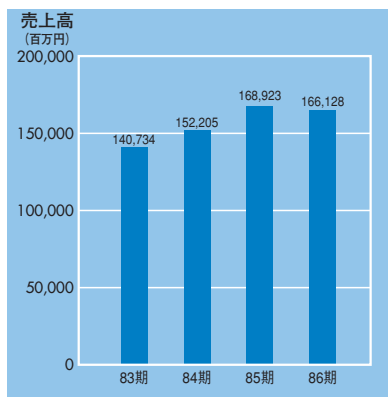
の変化が進んでいます。

そのような中で、当社は「ユーザーのあらゆるご要望に応じて、よりよい商品をより速く、より多角的に、安定価格にて提供する」ことを基本に、「国内外の新規販路開拓」「新商品の提供」「収益率の向上」「財務体質の強化」を目標として掲げております。

現在、鉄鋼、非鉄金属、電子材料、金属雑貨、機械・工具の各事業が地域経済に密着した営業体制の強化と販路の拡大に努めるとともに、営業開発部を起点に新規商材販売の取組を行っております。

また、中国・東南アジア地域への販売体制強化戦略として、香港、タイ、上海に現地法人を設立、タイ現地法人との合弁事業への投資等を行っております。

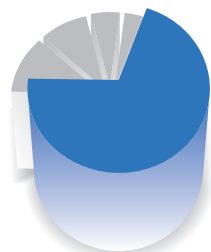
今後ともグループ全体の体制の充実を図りながら、国内販売強化と販路のグローバル展開を推進していく所存です。



(単位/百万円)

	83期	84期	85期	86期
売上高	140,734	152,205	168,923	166,128
営業利益	5,362	4,035	3,400	2,546
経常利益	5,675	4,285	3,558	2,699
当期純利益	3,393	2,630	1,978	997
総資産	82,218	89,446	88,707	86,607
純資産	26,563	27,723	26,720	24,963

当社連結グループは、鉄鋼、非鉄金属、電子材料、金属雑貨、機械・工具の5部門の事業を主として行っております。各セグメントにおける主要製品及び、当期における概況についてご報告します。



売上高構成比率
69.7%

鉄 鋼

事業概況

当事業においては、表面処理鋼板、冷延鋼板、酸洗鋼板、熱延鋼板、棒鋼、条鋼などの普通鋼、構造用炭素鋼、構造用合金鋼、工具鋼などの特殊鋼及び建築用の資材、機材を主に自動車、建設機械、建築、電機、造船、金型などの業界に販売しております。

また、各事業所は、倉庫を所有し、切断などの一次加工も行い、東北、福島（郡山）、栃木、神奈川の各支店にはコイルセンターが存在します。

当期の概況

下半期に入り鋼材需要の急激な後退により、取扱量が減少しましたが、鋼材価格の上昇が寄与したことにより、同事業の売上高は1,157億9千9百万円（前期比3.7%増）となりました。



売上高構成比率
11.6%

非鉄金属

事業概況

当事業においては、アルミニウム、銅、亜鉛、鉛などの素材及び加工品を、主に自動車、機械器具製造、ダイキャスト製造などの業界に販売しております。また、アルミセンターにて、アルミ板の切断などの一次加工を行い販売しております。

当期の概況

下半期に入り各取引先の減産や在庫調整が急速に進んだことによる取扱量の減少と、亜鉛等の地金価格の下落の影響により、同事業の売上高は192億8千5百万円（前期比24.9%減）となりました。





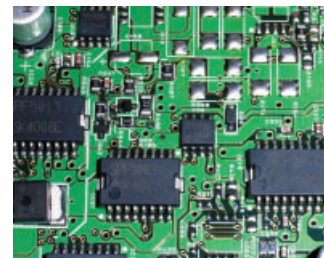
電子材料

事業概況

当事業においては、電子機器、電器製品に使用されるプリント配線基板用の積層板など電子材料を電器業界に販売しております。

当期の概況

遊技機向け関連商品の受注増加はあったものの、デジタル家電業界及び車載関連業界の世界的な減産の影響を受け、主力のプリント配線基板用積層板等の販売が低調になったことにより、同事業の売上高は155億5千5百万円（前期比7.7%減）となりました。



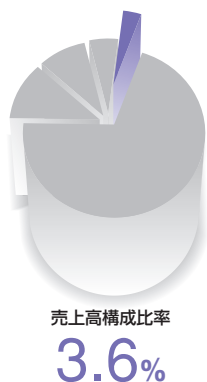
金属雑貨

事業概況

当事業においては、ナイフ・フォークなどの金属洋食器、陶磁器、またインテリア用品、貴金属などの製品を、主に百貨店、量販店、ホテルなどの業界に販売しております。またSP（セールスプロモーション）商品の販売や、輸入カラオケマイク等の商品をテレビショッピングや通信販売にて販売しております。

当期の概況

金属洋食器等の販売は低調でしたが、通販・テレビショッピングが堅調に推移したこと等により、同事業の売上高は94億3千9百万円（前期比3.1%増）となりました。



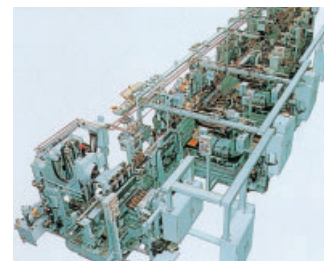
機械・工具

事業概況

当事業においては、旋盤、フライス盤、研削盤、マシニングセンターなどの工作機械及び工場生産ライン一式、及び切削工具、作業工具などを自動車業界を主力に販売しております。

当期の概況

下半期に入り受注状況は低調となりましたが、上半期までの堅調な受注が寄与したことにより、同事業の売上高は、60億4千9百万円（前期比9.4%増）となりました。



環境問題への取り組みについて

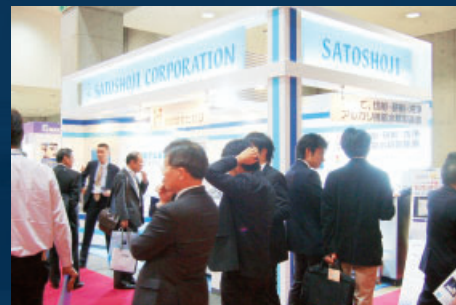
弊社営業開発部は「環境問題をソリューションする」をキーワードに独自の技術をもつメーカーとともに環境に配慮した商品の開発を行っております。

今期も各展示会において独創的な環境関連商材を出展いたしましたので、ご紹介いたします。

平成20年10月30日～11月4日に東京ビッグサイト（東京都江東区）で行われた第24回日本国際工作機械見本市に環境負荷低減を目的とした新商材「クリーンモンスター」を出展いたしました。

平成20年11月6日～11月8日にパシフィコ横浜（横浜市西区）で行われた2008日本ダイカスト展示会に環境調和型ダイカスト製品を出展いたしました。

平成21年3月19日～3月22日にマニラ（フィリピン）で行われた第5回エコプロダクツ国際展に弊社として新たな分野であるバイオ燃料への挑戦として、非食用植物油改質装置「エコプロ」を出展いたしました。



第24回日本国際工作機械見本市



2008日本ダイカスト展示会



第5回エコプロダクツ国際展

東京ミッドタウン SAYA

弊社直営ショップ「SAYA」は柳宗理氏を中心とした日本人デザイナーによる、日本での生産を基本にした良質な日用品を紹介、販売するショップです。

これからも美しく、使いやすい日用品を提案していきたいと考えております。

皆様のお越しをお待ちしております。

東京都港区赤坂9-7-4 D-0308東京ミッドタウンガレリア3階
オープン時間：毎日11時00分～21時00分（1月1日休日）



柳宗理シリーズ

日本のプロダクトデザインの第一人者である柳宗理氏は1952年に（財）柳工業デザイン研究会を設立し、以後現在に至るまで多岐にわたり活躍しています。弊社では機能美に溢れ、流行り廃りとは一線を画した使いやすいシンプルな同氏デザインのキッチンテーブルウェアを取り扱っております。

ご好評の商品



柳宗理デザイン独特の左右に注ぎ口のあるアルミキャストパンです。本体からハンドル取付部まで一体で滑らかなフォルムとなっており、また、右利き、左利きどちらの人にも使いやすいデザインとなっております。発売以来、ご自宅用にもギフトにも大変ご好評をいただいております。

ぜひ、弊社直営ショップ「SAYA」店頭にてご覧ください。



本 社

〒104-8522
東京都中央区八丁堀一丁目13番10号
TEL：03-3553-7015 FAX：03-5541-7406

ショールーム

本社ビル1階ショールームはテーブルウエア、キッチンウエアのほか環境関連商材を展示しております。

皆様のお越しをお待ちしております。



オープン時間：月曜日～金曜日 9時00分～18時00分（休日は除く）

事業所

- | | | | | |
|----------|------------|--------------|------------|----------|
| ■ 苫小牧支店 | ■ 山形支店 | ■ 新潟支店(東港倉庫) | ■ 西アルミセンター | ■ 四国支店 |
| ■ 札幌支店 | ■ 福島支店 | ■ 新潟雑貨支店 | ■ 大阪支店 | ■ 北九州支店 |
| ■ 岩手支店 | ■ 福島支店(郡山) | ■ 新潟流通センター | ■ 大阪雑貨支店 | ■ 福岡雑貨支店 |
| ■ 東北支店 | ■ 茨城支店 | ■ 北越支店 | ■ 兵庫支店 | ■ 九州支店 |
| ■ 仙台支店 | ■ 栃木支店 | ■ 長野支店 | ■ 岡山支店 | ■ 熊本支店 |
| ■ 仙台雑貨支店 | ■ 太田支店 | ■ 浜松支店 | ■ 岡山鋼材センター | |
| ■ 秋田支店 | ■ 埼玉支店 | ■ 名古屋支店 | ■ 福山支店 | |
| ■ 大館支店 | ■ 神奈川支店 | ■ 名古屋雑貨支店 | ■ 広島支店 | |
| ■ 鶴岡支店 | ■ 新潟支店 | ■ 滋賀支店 | ■ 広島雑貨支店 | |

海外

- インドネシア駐在員事務所

■新拠点開設のご案内 ～岡山鋼材センター～



中国・四国地区の鋼材流通の核拠点として、平成20年11月に岡山県早島町に岡山鋼材センターを開設いたしました。敷地面積7,100m²、在庫能力8,000トン、加工機能を併せ持ち、また高速道路早島インターから5分という利便性を活かし、中・四国営業拠点のバックヤードの役割を果たしております。

弊社営業開発部の取り扱いの省エネランプ「エコセラⅡ」を取り付け、環境にも配慮した設備となっております。

岡山鋼材センターの開設により、今まで以上にユーザーへの迅速な対応が可能となります。サービスの付加価値を高め、幅広くユーザーのニーズに対応していきます。



関係会社

メタルアクト株式会社

〒460-0003
愛知県名古屋市中区錦1丁目11番11号
名古屋インターシティ3階
TEL052-201-5600

日本洋食器株式会社

〒959-0214
新潟県燕市吉田法花堂1949
TEL0256-92-3131

佐藤新潟加工センター株式会社

〒959-0214
新潟県燕市吉田法花堂1945
TEL0256-92-7152

三神自動車興業株式会社

〒279-0025
千葉県浦安市鉄鋼通り2丁目4番2号
TEL047-316-8656

株式会社サトー・ゼネラル・サービス

〒104-8522
東京都中央区八丁堀1丁目13番10号
TEL03-3523-4121

佐藤ゼネテック株式会社

(株)ユーエヌティー・ジャパンは、平成21年4月1日付けで佐藤ゼネテック㈱に商号変更いたしました。)

〒104-8522
東京都中央区八丁堀1丁目13番10号
TEL03-3551-0211

香港佐藤商事有限公司

Room 712, 7/F., Chinachem Golden Plaza,
77Mody Road, Tsim Sha Tsui East,
Kowloon, Hong Kong
TEL852-2368-9200

SATO-SHOJI(THAILAND)CO.,LTD.

195Empire Tower, 12th Floor, Unit 2705,
South Sathorn Road, Yannawa, Sathorn,
Bangkok 10120
TEL662-659-5784

上海佐商貿易有限公司

Room8B, Jinlinghaixin Bldg., 666 Fuzhou
Road, Shanghai, 200001, China
TEL86-21-6391-7575

日本クラッチ株式会社

〒336-8506
埼玉県さいたま市緑区原山4丁目2番3号
TEL048-882-7106

山形クラッチ株式会社

〒997-0341
山形県鶴岡市下山添庄南43
TEL0235-57-2881

連結財務諸表（要旨）

連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当連結会計年度末 (平成21年3月31日現在)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日現在)
資 産 の 部		
流 動 資 産	67,558	66,851
固 定 資 産	19,048	21,856
有形固定資産	11,499	9,893
無形固定資産	295	376
投資その他の資産	7,253	11,586
資 産 合 計	86,607	88,707
負 債 の 部		
流 動 負 債	54,845	56,729
固 定 負 債	6,799	5,256
負 債 合 計	61,644	61,986
純 資 産 の 部		
株 主 資 本	23,762	23,417
資 本 金	1,319	1,319
資 本 剰 余 金	881	881
利 益 剰 余 金	21,601	21,255
自 己 株 式	△39	△38
評 価 ・ 換 算 差 額 等	1,163	3,264
その他有価証券評価差額金	1,197	3,305
繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	1	△12
為 替 換 算 調 整 勘 定	△34	△28
少 数 株 主 持 分	36	38
純 資 産 合 計	24,963	26,720
負 債 純 資 産 合 計	86,607	88,707

連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当連結会計年度 (平成20年4月1日～ 平成21年3月31日)	前連結会計年度 (平成19年4月1日～ 平成20年3月31日)
売 上 高	166,128	168,923
売 上 原 価	153,808	156,184
売 上 総 利 益	12,320	12,739
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	9,774	9,338
営 業 利 益	2,546	3,400
営 業 外 収 益	694	724
営 業 外 費 用	540	566
経 常 利 益	2,699	3,558
特 別 利 益	326	919
特 別 損 失	962	725
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益	2,062	3,751
法人税、住民税及び事業税	1,009	1,827
法 人 税 等 調 整 額	56	△87
少 数 株 主 利 益	△0	33
当 期 純 利 益	997	1,978

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当連結会計年度 (平成20年4月1日～ 平成21年3月31日)	前連結会計年度 (平成19年4月1日～ 平成20年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△11,518	1,336
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,132	△3,653
財務活動によるキャッシュ・フロー	15,719	1,095
現金及び現金同等物に係る換算差額	17	△112
現金及び現金同等物の増減額（減少△）	1,086	△1,333
現金及び現金同等物の期首残高	2,809	4,142
現金及び現金同等物の期末残高	3,896	2,809

連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度 (平成20年4月1日～ 平成21年3月31日)	前連結会計年度 (平成19年4月1日～ 平成20年3月31日)
株主資本		
資本金		
前期末残高	1,319	1,319
当期末残高	1,319	1,319
資本剰余金		
前期末残高	881	800
当期変動額		
自己株式の処分	0	80
当期変動額合計	0	80
当期末残高	881	881
利益剰余金		
前期末残高	21,255	19,927
当期変動額		
剰余金の配当	△ 651	△ 651
当期純利益	997	1,978
当期変動額合計	345	1,327
当期末残高	21,601	21,255
自己株式		
前期末残高	△ 38	△ 126
当期変動額		
自己株式の取得	△ 0	△ 0
自己株式の処分	0	88
当期変動額合計	△ 0	87
当期末残高	△ 39	△ 38
株主資本合計		
前期末残高	23,417	21,921
当期変動額		
剰余金の配当	△ 651	△ 651
当期純利益	997	1,978
自己株式の取得	△ 0	△ 0
自己株式の処分	0	169
当期変動額合計	345	1,496
当期末残高	23,762	23,417

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度 (平成20年4月1日～ 平成21年3月31日)	前連結会計年度 (平成19年4月1日～ 平成20年3月31日)
評価・換算差額等		
前期末残高	3,264	5,306
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△ 2,100	△ 2,041
当期変動額合計	△ 2,100	△ 2,041
当期末残高	1,163	3,264
少数株主持分		
前期末残高	38	495
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△ 2	△ 457
当期変動額合計	△ 2	△ 457
当期末残高	36	38
純資産合計		
前期末残高	26,720	27,723
当期変動額		
剰余金の配当	△ 651	△ 651
当期純利益	997	1,978
自己株式の取得	△ 0	△ 0
自己株式の処分	0	169
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△ 2,102	△ 2,498
当期変動額合計	△ 1,757	△ 1,002
当期末残高	24,963	26,720

単体貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当事業年度末 (平成21年3月31日現在)	前事業年度末 (平成20年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	64,442	63,304
固定資産	19,300	21,833
有形固定資産	10,963	9,427
無形固定資産	281	374
投資その他の資産	8,055	12,031
資産合計	83,742	85,138
負債の部		
流動負債	53,566	54,984
固定負債	6,678	5,122
負債合計	60,245	60,106
純資産の部		
株主資本	22,249	21,715
資本金	1,319	1,319
資本剰余金	788	788
利益剰余金	20,180	19,646
自己株式	△ 39	△ 38
評価・換算差額等	1,248	3,315
その他有価証券評価差額金	1,247	3,328
繰延ヘッジ損益	1	△ 12
純資産合計	23,497	25,031
負債純資産合計	83,742	85,138

単体損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当事業年度 (平成20年4月1日～ 平成21年3月31日)	前事業年度 (平成19年4月1日～ 平成20年3月31日)
売上高	159,331	159,401
売上原価	148,024	147,926
売上総利益	11,307	11,475
販売費及び一般管理費	9,088	8,677
営業利益	2,219	2,798
営業外収益	986	632
営業外費用	489	535
経常利益	2,716	2,895
特別利益	326	918
特別損失	903	725
税引前当期純利益	2,139	3,088
法人税、住民税及び事業税	897	1,610
法人税等調整額	56	△ 111
当期純利益	1,185	1,588

単体株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

科 目	当事業年度 (平成20年4月1日～ 平成21年3月31日)	前事業年度 (平成19年4月1日～ 平成20年3月31日)
株主資本		
資本金		
前期末残高	1,319	1,319
当期末残高	1,319	1,319
資本剰余金		
前期末残高	788	788
当期変動額		
自己株式の処分	0	0
当期変動額合計	0	0
当期末残高	788	788
利益剰余金		
前期末残高	19,646	18,709
当期変動額		
剰余金の配当	△ 651	△ 651
当期純利益	1,185	1,588
当期変動額合計	533	937
当期末残高	20,180	19,646
自己株式		
前期末残高	△ 38	△ 37
当期変動額		
自己株式の取得	△ 0	△ 0
自己株式の処分	0	0
当期変動額合計	△ 0	△ 0
当期末残高	△ 39	△ 38
株主資本合計		
前期末残高	21,715	20,779
当期変動額		
剰余金の配当	△ 651	△ 651
当期純利益	1,185	1,588
自己株式の取得	△ 0	△ 0
自己株式の処分	0	0
当期変動額合計	533	936
当期末残高	22,249	21,715
評価・換算差額等		
前期末残高	3,315	5,220
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△ 2,067	△ 1,904
当期変動額合計	△ 2,067	△ 1,904
当期末残高	1,248	3,315
純資産合計		
前期末残高	25,031	25,999
当期変動額		
剰余金の配当	△ 651	△ 651
当期純利益	1,185	1,588
自己株式の取得	△ 0	△ 0
自己株式の処分	0	0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△ 2,067	△ 1,904
当期変動額合計	△ 1,534	△ 968
当期末残高	23,497	25,031

会社概要 (平成21年3月31日現在)

商号	佐藤商事株式会社
本社	東京都中央区八丁堀一丁目13番10号 TEL 03-3553-7015
設立	昭和24年2月24日
資本金	13億1,925万円
従業員数	503人
ホームページアドレス	http://www.satoshoji.co.jp/

役員 (平成21年6月26日現在)

代表取締役社長	村田和夫
専務取締役	渡辺勉
常務取締役	中村順一
常務取締役	永瀬哲郎
取締役	秋元雅行
取締役	小松和夫
取締役	齋藤祐一郎
取締役	音羽正利
取締役	田浦義明
常勤監査役	平山繁幸
監査役	横舘寛治
監査役	中神啓四郎

株式の状況 (平成21年3月31日現在)

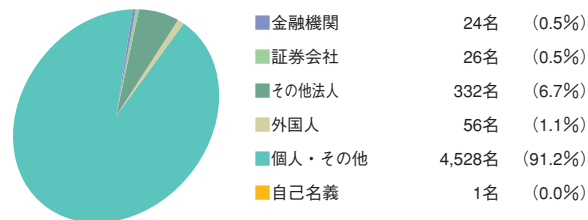
発行可能株式総数	87,000,000株
発行済株式の総数	21,790,350株
株主数	4,967名

大株主 (平成21年3月31日現在)

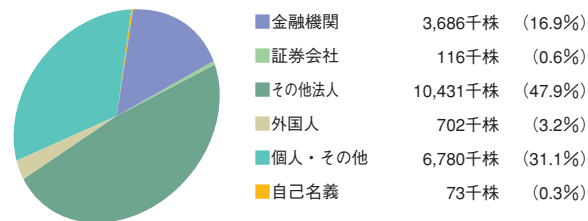
株主名	当社への出資状況	
	持株数 (千株)	出資比率 (%)
三神興業株式会社	1,575	7.2
三原不動産株式会社	1,533	7.0
日野自動車株式会社	1,270	5.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	762	3.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	605	2.8
株式会社りそな銀行	554	2.5
住友金属鉱山株式会社	519	2.4
日本シイエムケイ株式会社	512	2.4
いすゞ自動車株式会社	501	2.3
JFEスチール株式会社	500	2.3

株式分布状況 (平成21年3月31日現在)

所有者別株主分布状況



所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月に開催します。
基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

単元株式数 100株
公告方法 電子公告により行います。但し、やむを得ない理由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
公告掲載URL (<http://www.satoshoji.co.jp/ir/koukoku.html>)

株主名簿管理人/ 特別口座の口座管理機関

株主名簿管理人事務取扱場所

株式会社だいこう証券ビジネス

東京都中央区日本橋兜町14番9号
株式会社だいこう証券ビジネス 東京支社

(郵送物送付先)

〒541-8583
大阪市中央区北浜二丁目4番6号
株式会社だいこう証券ビジネス 証券代行事務センター

(連絡先)

電話番号 0120-255-100
ホームページアドレス <http://www.daiko-sb.co.jp/>

株式に関するお手続き

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金振込口座の指定その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にご相談ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する、各種お申し出・お手続きにつきましては、上記特別口座管理機関にご相談ください。
3. 未受領の配当金につきましては、株式会社だいこう証券ビジネスにてお取扱いいたします。

佐藤商事株式會社

事業所

本社

〒104-8522
東京都中央区八丁堀一丁目13番10号
TEL : 03-3553-7015 FAX : 03-5541-7406

支店

札幌、東北、秋田、山形、新潟、福島、栃木、神奈川
浜松、名古屋、滋賀、大阪、広島、九州、熊本ほか24店

海外

インドネシア駐在員事務所

関係会社

メタルアクト株式会社

日本洋食器株式会社

佐藤新潟加工センター株式会社

三神自動車興業株式会社

株式会社サトー・ゼネラル・サービス

佐藤ゼネテック株式会社

(株)ユーエヌティイー・ジャパンは、平成21年4月1日付
けで佐藤ゼネテック(株)に商号変更いたしました。)

香港佐藤商事有限公司

SATO-SHOJI (THAILAND) CO., LTD.

上海佐商貿易有限公司

日本クラッチ株式会社

山形クラッチ株式会社

